

2024年度第3回 [事後・外部]評価委員会審議結果

【評価結果】S(特に顕著な成果や特別な成果の創出が認められる)
A(顕著な成果の創出が認められる)
B(標準、着実な業務運営がなされている)
C(より一層の工夫・改善等が期待される)
D(抜本的な見直しを含め特段の工夫・改善が求められる)

研究テーマ: 中間評価結果

NO.	テーマ	研究テーマ名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	1A	地震災害の軽減や復旧に関する研究開発	小濱 英司	A	A
2	1B	津波・高潮・高波災害の軽減や復旧に関する研究開発	平山 克也	A	A
3	2A	沿岸・海洋環境の形成・保全・活用に関する研究開発	桑江 朝比呂	A	A
4	2B	脱炭素社会構築を支援する技術に関する研究開発	川口 浩二	A	A
5	3A	インフラ整備に関する研究開発	森川 嘉之	B	B
6	3B	インフラの維持管理に関する研究開発	山路 徹	B	B
7	4A	デジタル技術の活用による生産性向上に関する技術開発	井上 徹教	A	A
8	4B	デジタル技術の活用による新たな価値の創造に関する研究開発		B	B

研究実施項目: 事後評価結果

NO.	テーマ	研究テーマ名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	1B	海洋-波浪結合モデルによる長期アンサンブル高潮計算に関する研究	岩本 匠夢	B	B
2	2A	沿岸域ビックデータの活用による海面上昇に伴う海浜地形応答プロセスの検討	伴野 雅之	B	B
3	2B	脱炭素化に向けたCO2吸収能力を高める浅場造成手法の検討	渡辺 謙太	A	A
4	3A	波浪観測ネットワークを用いた沿岸波浪監視の信頼性向上に関する研究	濱野 有貴	B	B
5	4A	水中機械化施工の情報管理システムに関する研究	平林 丈嗣	A	A
6	4A	構造物近傍における点検装置の特定動作の自動化技術の検討	田中 敏成	A	A
7	4B	コンテナターミナル間の情報共有によるデジタルツインに関する研究	犬塚 秀世	B	B

【評価結果】5: 非常に優れている
4: 優れている
3: 普通
2: やや劣る
1: 劣る

特定萌芽的研究: 事後評価結果

NO.	テーマ	研究テーマ名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	3B	海水曝露環境でのセメント固化処理土の劣化メカニズムの解明と耐海水用固化材の開発	佐藤 樹	4	4